

## 吉武美知子 [プロデューサー]

東京生まれパリ在住。80年代から映画の様々な分野で仕事。キネマ旬報や女性誌等に寄稿。いち早くレオス・カラックス、シリル・コラール、ニコラ・フィリベル、フランソワ・オゾンを発掘し、配給会社ユーロスペースの買い付けをサポート。ジャン・ユスター・シュ、ストローブ=ユイレ、ジャック・ロジエ等などそれまでなかなか見ることができなかつた映画作家を日本へ紹介。ジャン=ピエール・リモザン『Tokyo Eyes』、レオス・カラックス『Pola X』、フランソワ・オゾン『クリミナル・ラヴアーズ』、『焼け石に水』、『まぼろし』の日仏合作コーディネート。1993年にフランスの映画製作会社 Comme des Cinémas の設立に参加。1998年に諏訪敦彦監督と出会い、以降同監督の『H Story』(2001)、『不完全なふたり』(2005)、『パリ、ジュテーム』(2006)、『ユキとニナ』(2009)に参与。Comme des Cinémasで『TOKYO!』(2008)の企画開発・製作に4年、『ユキとニナ』の企画開発・製作に5年をかけた後、2009年に映画製作会社 FILM-IN-EVOLUTION を設立。同会社にて黒沢清監督『ダゲレオタイプの女』(2016)、諏訪敦彦監督『ライオンは今夜死ぬ』(2017)などの合作映画をプロデュースした。



### スケジュール Calendrier

	14:00	サマードレス <i>Une robe d'été</i> (15分) 海をみる <i>Regarde la mer</i> (72分)
9月19日 (木)	16:30	おせっかいな天使 (95分) <i>Les Gens normaux n'ont rien d'exceptionnel</i>
	19:00	Tokyo Eyes <i>Tokyo Eyes</i> (98分)
	14:00	Tokyo Eyes <i>Tokyo Eyes</i> (98分)
9月20日 (金)	16:30	サマードレス <i>Une robe d'été</i> (15分) 海をみる <i>Regarde la mer</i> (72分)
	19:00	ボーイ・ミーツ・ガール <i>Boy Meets Girl</i> (104分)
	11:15	汚れた血 <i>Mauvais Sang</i> (119分)
9月21日 (土)	14:00	ポーラX <i>Pola X</i> (135分)
	17:00	ホーリー・モーターズ <i>Holy Motors</i> (116分)
	11:30	メーヌ・オセアン <i>Maine Océan</i> (130分)
9月22日 (日)	14:30	ユキとニナ <i>Yuki et Nina</i> (93分)
	17:00	不完全なふたり <i>Un couple parfait</i> (108分) 上映後トークショーあり(ゲスト:諏訪敦彦) suivi d'une rencontre avec Nobuhiro Suwa
	13:45	ポーラX <i>Pola X</i> (134分)
9月27日 (金)	16:45	遭難者 <i>Le Naufragé</i> (25分) 女っ気なし <i>Un monde sans femmes</i> (58分)
	19:00	音のない世界で <i>Le Pays des sourds</i> (99分)
	15:30	汚れたダイヤモンド <i>Diamant noir</i> (115分)
9月28日 (土)	18:15	汚れた血 <i>Mauvais Sang</i> (119分)
	11:45	汚れたダイヤモンド <i>Diamant noir</i> (115分)
	14:30	音のない世界で <i>Le Pays des sourds</i> (99分)
9月29日 (日)	17:00	メーヌ・オセアン <i>Maine Océan</i> (130分)

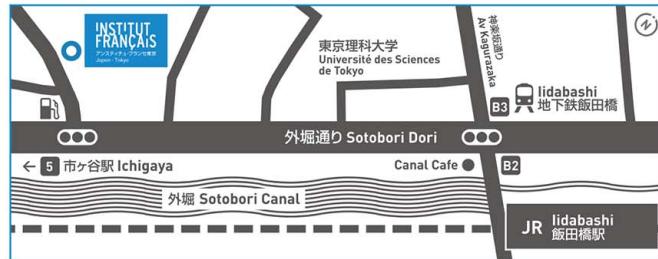
\*入場料金:一般:1,200円/学生:800円/会員:500円

\*開場:各回15分前

\*チケット販売時間:上映当日各回の30分前から上映開始10分後まで。チケット販売時間内には、当日すべての回のチケットをご購入いただけます。

\*全席自由、整理番号順での入場とさせて頂きます。なお、上映開始10分後以降の入場は、他のお客様への迷惑となりますので、固くお断りいたします。

[会場・お問合せ] アンスティチュ・フランセ東京  
〒162-8415 東京都新宿区市谷船河原町15  
tel: 03-5206-2500 fax: 03-5206-2501 www.institutfrancais.jp/tokyo  
f Institut français institut\_tokyo institut\_tokyo



追悼特集 映画プロデューサー 吉武美知子 ~フランスと日本の映画作家たちの架け橋となって~  
主催: アンスティチュ・フランセ日本  
助成: アンスティチュ・フランセパリ本部、ユニフランス  
アンスティチュ・フランセ日本 映画プログラムオフィシャル・パートナー:CNC、笹川日仏財団、TV5MONDE  
フィルム提供及び協力: アウラ、セルロイド・ドリームス、ビターズ・エンド、エタンシェ、ユーロスペース、  
エクステリヤール・ニュイ、ロングライド、ジャック・ロジエ

Hommage à Michiko Yoshita,  
une productrice emblématique du cinéma d'auteur en France et au Japon

Événement organisé par l'Institut français du Japon  
avec le soutien de: Institut français, CNC, Fondation Sasakawa, TV5 MONDE  
Remerciements: Aura, Bitters End, Celluloid Dreams, Etanje, Eurosplace, Extérieur nuit,  
Longride, Jacques Rozier

関連企画 第41回ぴあフィルムフェスティバル @国立映画アーカイブ

追悼・吉武美知子プロデューサー  
～フランスと日本を繋ぎ続けた人～

- 9. 8(日) 上映『TOKYO!』+トーク(ゲスト:堀越謙三)
  - 9.14(土) 上映『ダゲレオタイプの女』+トーク(ゲスト:黒沢清)
  - 9.15(日) 上映『ライオンは今夜死ぬ』+トーク(ゲスト:諏訪敦彦)
- 公式サイト: <https://pff.jp/41st/>



# Hommage Michiko Yoshitake

Une productrice emblématique du cinéma d'auteur  
en France et au Japon



### 追悼特集

## 映画プロデューサー 吉武美知子

～フランスと日本の映画作家たちの架け橋となって～

会場: アンスティチュ・フランセ東京 エスパス・イマージュ

2019年 9月19日(木) || 20日(金) || 21日(土) || 22日(日) || 27日(金) || 28日(土) || 29日(日)

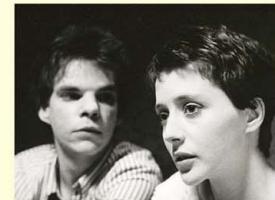
映画プロデューサー、吉武美知子さんは、  
30年以上前にパリに移住し、パリを拠点としながら、  
フランスと日本の作家たちの映画の間でなくてはならない架け橋となられました。  
惜しくも今年6月14日に他界された吉武さんは追悼すべく、  
彼女が紹介してくれた、あるいは製作された作品を特集します。

『日本映画』というカテゴリーではなく、  
もちろん『フランス映画』というものでもなく、  
とにかく『力のある映画』が見たい。  
そしてそれができる場を作りたい。その思いだけです。

吉武美知子——映画雑誌『nobody』34号 2010年 インタビューより

## Hommage Michiko Yoshitake

上映作品



### ボーイ・ミーツ・ガール *Boy Meets Girl* de Leos Carax

[フランス]/1984年/104分/カラー/35mm]

監督・脚本:レオス・カラックス

出演:ドニ・ラヴァン、ミレーユ・ベリエ、キャロル・ブルックス、エリー・ポワカル

5月の夜、パリの裏街を舞台に、失恋したばかりの少年アレックスが美しい少女ミレーユと出会い、やがて悲劇的な結末を迎えるまでを、ペルベットのように艶やかなモノクローム映像で綴る。河面の反射、街の光など、夜闇にうかぶ光が宝石のように刻まれた画面は、フィルム・ノワールやヌーベルヴァーグの雰囲気を漂わせながら、まぎれもなく80年代の「魂の状態」を伝えている。84年のカンヌ映画祭で上映されるや、「恐るべき子ども」「ゴダールの再来」と一躍脚光を浴びた、カラックス22歳の長編処女作で、『汚れた血』、『ポンヌフの恋人たち』と続くアレックス3部作の幕開け。



### メーヌ・オセアン *Maine Océan* de Jacques Rozier

[フランス]/1985年/130分/カラー/35mm]

監督:ジャック・ロジエ

出演:ベルナール・メネズ、ルイス・レゴ、リディア・フェルド

ブラジル人ダンサーのデジャニラは、列車内で検札係とトラブルになり、通りすがりの女弁護士に救われる。その後、彼女たちは漁師ブチガが住む島に向かうことになり、そこに検札係たちもやってきて……。ロジエのフィルモグラフィーの中で、もっともコミカルな一本で、行き当たりばったりな展開が、見る者の気分をひたすら高揚させる傑作。ロジエは本作で、新人監督の斬新な作品に通常は贈られるジャン・ヴィゴ賞を60歳にして受賞。ジャック・ロジエとの交渉役をつとめ、日本での紹介において貢献した吉武美知子がロジエ作品でもっとも気に入っていた。



### 汚れた血 *Mauvais Sang* de Leos Carax

[フランス]/1986年/119分/カラー/35mm]

監督・脚本:レオス・カラックス

出演:ドニ・ラヴァン、ジュリエット・ビノシュ、ミシェル・ビッコリ、ジュリー・デルピー

あと数年で21世紀を迎えるとしているパリ、人々は愛の無いセックスによって感染する病の蔓延に恐れおののいていた。別の場所で新しい人生を望むアレックスは、亡き父の友人マルクから犯罪の誘いをうけるが、やがてマルクの情婦アンナに魅かれてゆく……。デヴィッド・ボウイの「モダン・ラブ」が流れる中を駆け抜ける長廻し撮影や、ラストのアンナの疾走など、映画史に残る名シーンの数々。1986年ルイ・デリック賞、第37回ベルリン国際映画祭アルフレッド・バウア賞受賞。カラックスの才能を早くから評価していた吉武美知子は、生涯に渡り、最大の理解者のひとりとして日仏の間で、カラックスを支え続けた。



### 音のない世界で *Le Pays des sourds* de Nicolas Philibert

[フランス]/1992年/99分/カラー/35mm]

監督:ニコラ・フィリベル

ろう学校に通う子どもたちが教室で発声の練習中。若者たちは手話を使った舞台の練習に励んでいる。困難にぶつかりながらも、さまざまなドラマに満ちてキラキラと輝く彼らの毎日、その指先から生み出される「手話」という言葉は、驚くほど優雅で、ユーモアに満ちている。寄り添うようなニコラ・フィリベル監督のまなざしを通して、観る人すべてを豊かな感覚に満ちあふれた「音のない世界」へ誘う傑作ドキュメンタリー。ベルフォール映画祭グランプリ、山形ドキュメンタリー映画祭正式招待作品。吉武美知子は本作を日本へ紹介した。その後も同氏と親交を深めたニコラ・フィリベル監督はパリでの葬儀の際に弔辞を読んだ。



### おせっかいな天使

*Les Gens normaux n'ont rien d'exceptionnel*

de Laurence Ferreira Barbosa

[フランス]/1993年/95分/カラー/35mm]

監督:ロランス・フェレイラ・バルボザ

出演:ヴァレリア・ブルニー・テデスキ、メルヴィル・プロー、クレール・ラロッシュ

25歳のマルティーヌは短いアヴァンチュールを重ねることに飽き飽きしていた。ある大喧嘩の末、頭を打ち記憶喪失になった彼女は精神病院に運ばれる。そこでの患者たちとの交流を通じて、マルティーヌは周囲へ目を開き、変化していく。女性監督ロランス・フェレイラ・バルボザ長編デビュー作で、新世代の俳優たちの競演を生き生きと見せ、巧みに演出している。主演のヴァレリア・ブルニー・テデスキは本作で94年セザール賞最優秀新人女優賞受賞し、フランスでは34週間ものロングランを記録した。



### サマードレス *Une robe d'été* de François Ozon

[フランス]/1996年/15分/カラー/35mm]

監督:フランソワ・オゾン

出演:フレデリック・マンジュノ、ルシア・サンチェス、セバスチャン・シャルル友人と海にヴァカンスへやってきた青年ミック。海辺でルシアという女性と知り合ったミックは、ひょんなことから彼女の青いドレスを借ることになるが……。ロカルノ国際映画祭の新人監督賞を受賞し、世界にその才能を知らしめたフランソワ・オゾンの短編。



### 海を見る *Regarde la mer* de François Ozon

[フランス]/1997年/72分/カラー/35mm]

監督:フランソワ・オゾン

出演:サーチャ・ヘイルズ、フレデリック・マンジュノ、ヴァレリー・ドラグエパリで働く夫の死を待ちながら、美しい島で生後10ヶ月の娘と2人で静かな日々を送っているサーチャ。そんなある日、彼女の母ともにタチアナと名乗るバックパッカーの若い女性が現れ、2~3日の間、庭先にテントを張らせてほしいというのだが……。前作『サマードレス』とはうってかわったサスペンス・タッチの本作によってオゾンは監督としての力量、幅を見せ、その後、本国でも日本でもフランスを代表する若手監督として人気が上昇していく。



### Tokyo Eyes *Tokyo Eyes* de Jean-Pierre Limosin

[日本=フランス]/1998年/98分/カラー/35mm]

監督:ジャン=ピエール・リモゼン

出演:武田真治、吉川ひなの、杉本哲太、水島かおり、大杉漣、ビートたけし世纪末の東京を舞台に、謎の発砲事件を続ける青年と彼にひかれる少女のつかの間の関係を鮮烈なタッチで綴った一編。フランス人監督ジャン=ピエール・リモゼンが、渋谷や下北沢を中心とした「東京」を舞台に日本人俳優を使って撮り上げた作品。発砲事件が続く中、美容院で働く少女ヒナは謎の男Kと出会う。AV機器に囲まれた生活をしているKは、仮想世界と現実の区別がつかなくなつたまま改造拳銃をTVゲームの感覚で撃っていたのだ……。ヤクザ役でビートたけしが特別出演。日本とフランスの合作映画の先駆けとなる作品で、製作はユーロスペースの堀越謙三とヘヌガメ・パナビ。吉武美知子は撮影現場で通訳を務めるなど、作品製作におおいに貢献した。



### ポーラX *Pola X* de Leos Carax

[フランス=ドイツ=日本=スイス]/1999年/134分/カラー/35mm]

監督:レオス・カラックス

出演:ギューム・ドバルデュー、カトリーナ・ゴルベワ、カトリーヌ・ドヌーブハーマン・メルヴィルの小説「ピエール」を映画化。虚飾の人生の中で真実を渴望する新進小説家ピエールと謎の黒髪女イザベル。ピエールは姉かもしれないイザベルとの愛を求め、美しい母と婚約者、満ち足りた生活を捨て、魂の暗闇を下降してゆく——。闇の中の官能的なベッドシーン、「血の河」に溺れる夢など、今までになく強烈な闇のインパクトによって、破滅へと向かう男の魂を描き、カラックスが新境地を開いた作品。主演のカトリーナ・ゴルベワはカラックスのパートナーであったが11年に急逝、次回作『ホーリー・モーターズ』は彼女に捧げられている。



### 不完全なふたり *Un couple parfait* de Nobuhiro Suwa

[日本=フランス]/2005年/108分/カラー/35mm]

監督:諏訪敦彦

出演:ヴァレリア・ブルニー・テデスキ、ブリュノ・トデスキーニ、ナタリー・ブトフ、ジャック・ドワイヨン

マリーとニコラは結婚15年になる夫婦。彼らは友人の結婚式に出席するために、パリへやって来た。友人達からは、「理想のカップル」として見られる二人だったが、実は彼らは離婚することを決めていた。マリーとニコラは「不完全な二人」なのだろうか? 他人同士である女と男にとって、「完全な二人」であることは? デビュー作『2/デュオ』以来、一貫して女と男の関係を描いてきた諏訪敦彦が、「二人で生きていくこと」の難しさと晴らしさを織細かつ情感豊かに描く、珠玉の作品。ロカルノ国際映画祭にて審査員特別賞と国際芸術映画評論連盟賞をダブル受賞。吉武美知子は本作で共同プロデューサーを務めた。



### ユキとニナ *Yuki et Nina* de Nobuhiro Suwa

[日本=フランス]/2009年/93分/カラー/デジタル]

監督・脚本:諏訪敦彦、イボリット・ジラルド

出演:ノエ・サンピ、アリエル・ムーテル、イボリット・ジラルド

ユキはフランス人の父と日本人の母とパリで暮らす9歳の女の子。ある日、母が父と別れてユキと日本で暮らしたいと考えていることを知り、親友のニナと一緒に、両親を仲直りさせるために奔走する。ユキはやがて深い森の中で、自分の心と向き合い、一步踏み出していく。国際的に高い評価を受ける諏訪敦彦監督とフランスの名優イボリット・ジラルドが共同監督し、少女たちの目線で物語を描くことに徹底的にこだわって撮られた本作は、彼女たちが新しい世界に踏み出していく時のใจ遣いや心の機微がリアルに伝わってくる瑞々しい成長物語に仕上がっている。吉武美知子は本作でアソシエイト・プロデューサーを務めた。2009年カンヌ国際映画祭(監督週間)正式出品作品。



### 遭難者 *Le Naufragé* de Guillaume Brac

[フランス]/2009年/25分/カラー/デジタル]

監督:ギヨーム・ブラック

出演:ジュリアン・リュカ、ヴァンサン・マケニユ、アデライード・ルルー  
フランス北部の町オルトで、自転車がパンクしたリュック。それを見た地元の青年シルヴァン。シルヴァンはリュックを助けようとするが……。「美知子との出会いが僕を日本につないでくれた。彼女は僕を笑わせ、感動させた」——ギヨーム・ブラック



### 女っ気なし *Un monde sans femmes* de Guillaume Brac

[フランス]/2011年/58分/カラー/デジタル]

監督:ギヨーム・ブラック

出演:ヴァンサン・マケニユ、ロール・カラミー、コンスタンス・ルソー、ロラン・パボ

フランス北部の小さな町オルト。夏の終わり、地元の青年シルヴァンが管理するアパートを、ヴァンサンに来た母娘が訪れる。明るくて奔放な母と少し内気な娘。3人は海水浴や買い物をして仲良く過ごしていくが、やがてヴァンサンの終わりが近づき……。ギヨーム・ブラック監督の劇場デビュー作。フランスで『女っ気なし』は、新人監督の作品としては異例のロングランとなり、ヌーベルヴァーグを継承する新しい才能の出現と高く評価された。



### ホーリー・モーターズ *Holy Motors* de Leos Carax

[フランス]/2012年/116分/カラー/デジタル]

監督:レオス・カラックス

出演:ドミニク・ラヴァン、エディット・スコブ、エヴァ・メンデス、カイリー・ミノーグ、ミシェル・ビコリ、レオス・カラックス

夜明けから夜までの一日、オスカー氏は、ひとつの人生からもうひとつ人生へと旅を続ける。ある時は大企業の社長、またある時は殺人者、物乞い、怪物、そして父親へと…。仕草の美しさ、アクションの原動力、そして彼の人生に登場した女性や亡霊たちを求めて。「ある種のSF映画を想像して作りました。そこでは人間、獣、機械がヴァーチャルなもの、つまり不可視なものが退廃した形態としてのヴァーチャルなものに支配された世界で連帯しています。」——レオス・カラックス



### 汚れたダイヤモンド *Diamond noir* de Arthur Harari

[ベルギー]/2016年/115分/カラー/デジタル]

監督:アルチュール・阿拉リ

出演:ニールス・シュネデール、アウグスト・ディール、ハンス・ベーター・クロース

フランス、パリ。強盗に明け暮れるビエールは、15歳から音信不通だった父が死んだことを突然知られる。アントワープのダイヤモンド商家生まれの父は、ダイヤの研磨作業中に不慮の事故で手先を失い、その後精神を病み、家族の前から姿を消す。それを知られたビエールは、生家から追放された父の過去とみじめな最期に、父の兄ジョゼフを長とする一族への復讐と、ダイヤの強盗を誓う。舞台はパリから、ベルギーのアントワープへ。しかし生まれて初めてダイヤモンドに触れたビエールは、自分の体内に流れる、父から受け継いだ血が騒ぎだすを感じるのだった。そしてそれは、悲劇への序章でもあった——。

« Michiko Yoshitake,  
un relais essentiel entre les cinémas  
d'auteur de France et du Japon. »

—Julien Cester, Libération

「吉武美知子はフランスと日本の作家性のある映画においてかけがえのない架け橋となった。」  
——ジュリアン・ジェステール(仏日刊紙「リベラシオン」)